



**HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。**

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 19 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2016 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、今回、直近の調査期間である 19 年次(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)における使用実態のデータを加え、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いと考えております。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2016 年 11 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

日本たばこ産業株式会社

ファイザー株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック PMS 株式会社(CRO: 調査受託会社)

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

19 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2016 年 3 月)

目次

調 査 対 象 薬 剤	1
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数の推移	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	5
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始時期別生存率	6
・ HRD 共同調査生存率	
全症例のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	7
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	8
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率	
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡)	9
・ HRD 共同調査生存率	

治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患による死亡).....10

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率.....11

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率.....12

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 3 月 31 日以前に治療開始した症例)
- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率(2001 年 4 月 1 日以降に治療開始した症例)

調査対象全症例における治療開始時期別生存率.....13

- ・ HRD 共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数.....14

- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数

2013 年度から 2015 年度に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ).....15

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2016 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
プリズタ錠 300mg	ダルナビル (DRV)	2007 年 11 月 ～ 2017 年 11 月
プリズタナイブ錠 400mg	ダルナビル (DRV)	2009 年 8 月 ～ 2017 年 11 月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル (RAL)	2008 年 6 月 ～ 2018 年 6 月
ミコフテインカプセル 150mg	リファブチン	2008 年 7 月 ～ 2018 年 7 月
インテレンス錠 100mg	エトラビル (ETR)	2008 年 12 月 ～ 2018 年 12 月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク (MVC)	2008 年 12 月 ～ 2018 年 12 月
サムチレル内用懸濁液 15%	アトバコン	2012 年 1 月 ～ 2020 年 1 月
エシユラント錠 25mg	リルピビリン (RPV)	2012 年 5 月 ～ 2022 年 5 月
スタリビルド配合錠	エルビテグラビル/コビシスタット/エムトリシタビン /テノホビル シソフ ロキシルマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月 ～ 2023 年 3 月
プリズタナイブ錠 800mg	ダルナビル (DRV)	2013 年 7 月 ～ 2017 年 11 月
デビケイ錠 50mg	ドルテグラビル (DTG)	2014 年 3 月 ～ 2024 年 3 月
コムプレラ配合錠	リルピビリン/テノホビル・シソフ ロキシルマル酸塩 /エムトリシタビン (RPV/TDF/FTC)	2014 年 11 月 ～ 2022 年 5 月
プリズタ錠 600mg	ダルナビル (DRV)	2014 年 12 月 ～ 2017 年 11 月
トリメク配合錠	ドルテグラビル/アバカビル流酸塩/ラミブジン (DTG/ABC/3TC)	2015 年 3 月 ～ 2024 年 3 月

(参考:2016 年 3 月現在再審査期間が終了している薬剤)

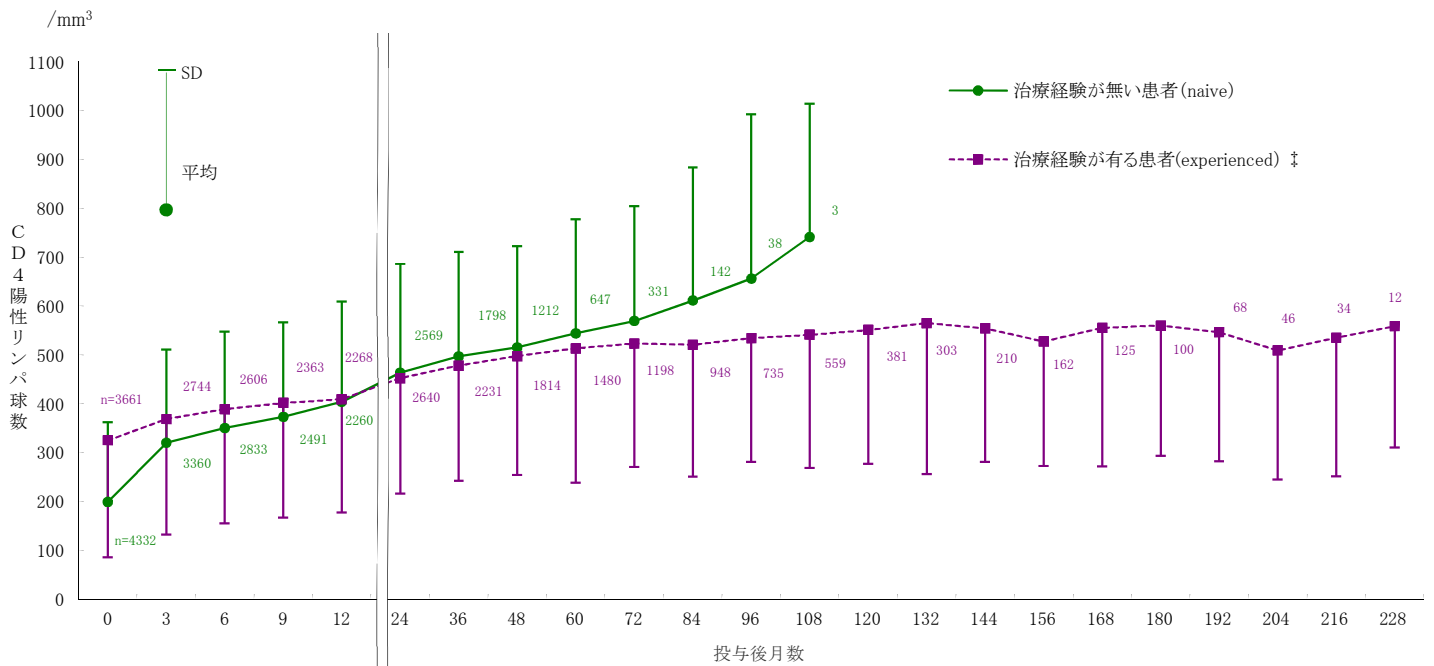
医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エビテル錠 150, 300	ラミブジン (3TC)	1997 年 2 月 ～ 2007 年 2 月
コンビテル配合錠	ジドブジン (AZT)・ラミブジン (3TC)	1999 年 6 月 ～ 2007 年 2 月
クリキパソカプセル	インジナビル硫酸塩 (IDV)	1997 年 3 月 ～ 2007 年 3 月
点滴静注用ホスカルビル	ホスカルネートナトリウム水和物	1997 年 3 月 ～ 2007 年 3 月
ゼリットカプセル	ザニルブジン (d4T)	1997 年 7 月 ～ 2007 年 7 月
デノシンカプセル※ ¹	ガソクロビル	1997 年 7 月 ～ 2007 年 7 月
インビラゼカプセル	サキナビルメシル酸塩 (SQV-HGC)	1997 年 9 月 ～ 2007 年 9 月
ノービア内用液・ソフトカプセル※ ¹	リトナビル (RTV)	1997 年 11 月 ～ 2007 年 11 月
ビラセプト錠 250mg	ネルフィナビルメシル酸塩 (NFV)	1998 年 3 月 ～ 2008 年 3 月
クラリス錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998 年 9 月 ～ 2008 年 9 月
クラリシット錠・トライシロップ	クラリスロマイシン (CAM)	1998 年 9 月 ～ 2008 年 9 月
ビラミューン錠	ネビラピン (NVP)	1998 年 11 月 ～ 2008 年 11 月
ザイジン錠	アバカビル硫酸塩 (ABC)	1999 年 9 月 ～ 2009 年 9 月
ストックリン錠 200mg, 600mg	エファビレンツ (EFV)	1999 年 9 月 ～ 2009 年 9 月
カレラ配合錠・配合内用液	ロビナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2000 年 12 月 ～ 2010 年 12 月
エゾグム配合錠	ラミブジン (3TC)・アバカビル硫酸塩 (ABC)	2004 年 12 月 ～ 2010 年 12 月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001 年 12 月 ～ 2011 年 12 月
カレラ配合錠	ロビナビル (LPV)・リトナビル (RTV)	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月※ ²
レイアタツカプセル 150mg, 200mg	アタザナビル硫酸塩 (ATV)	2003 年 12 月 ～ 2013 年 12 月
ビリアート錠 300mg	テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (TDF)	2004 年 3 月 ～ 2014 年 3 月
バリキサ錠 450mg	バルガソクロビル塩酸塩	2004 年 11 月 ～ 2014 年 11 月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプレナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004 年 12 月 ～ 2014 年 12 月
エムトリバカプセル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005 年 3 月 ～ 2015 年 3 月
ツルバタ配合錠	エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシルマル酸塩 (FTC/TDF)	2005 年 3 月 ～ 2015 年 3 月

※1:デノシンカプセル・ノービアソフトカプセルは現在、販売されておりません。

※2:カレラ配合錠の用法追加(1 日 1 回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

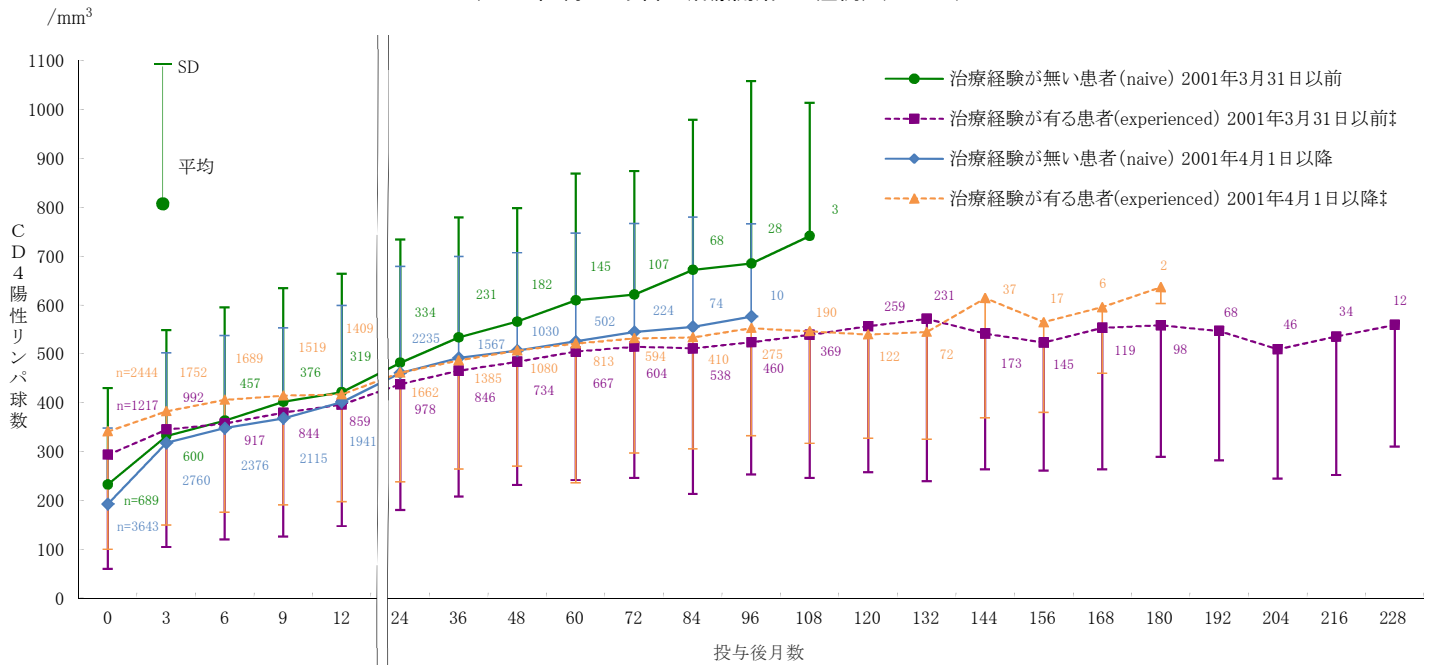
調査対象全症例における治療開始後のCD4数の推移

治療開始後のCD4数の推移[†]
(調査期間: 調査開始から2016年3月) (n=7993)



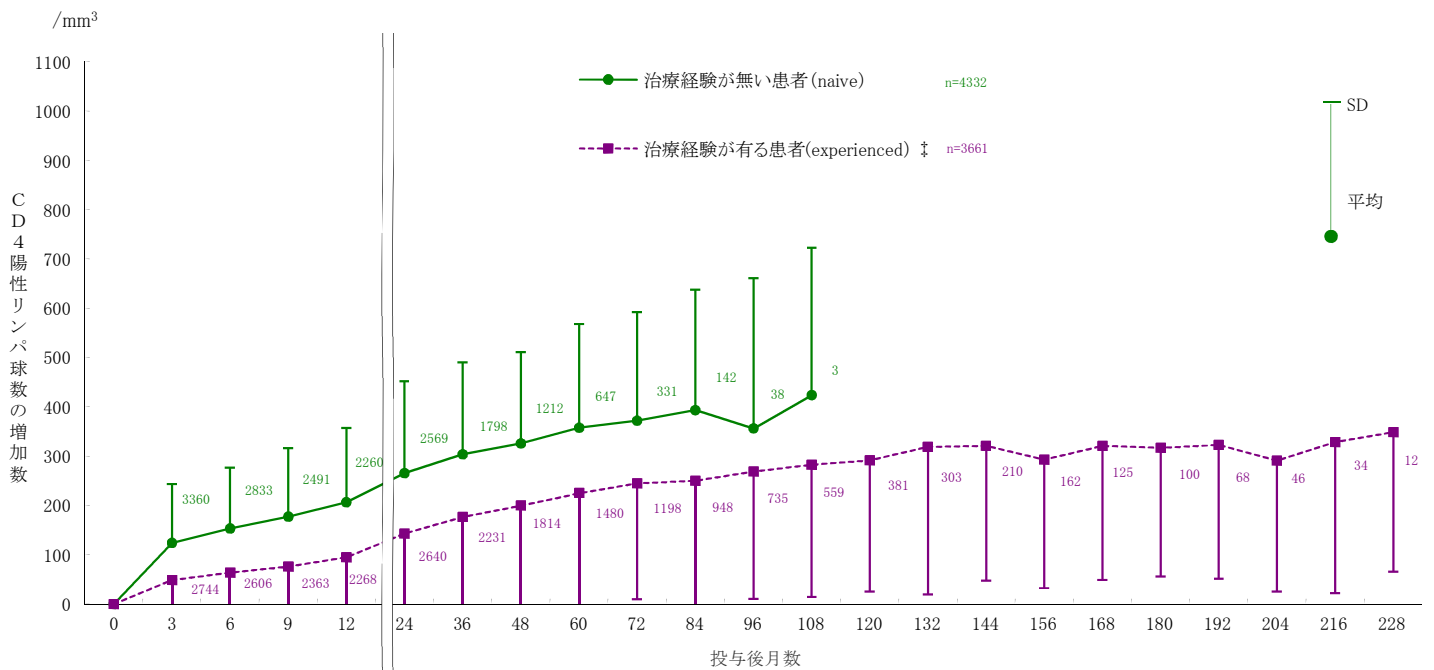
† 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4数の推移[†]
(2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1906)
(2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=6087)



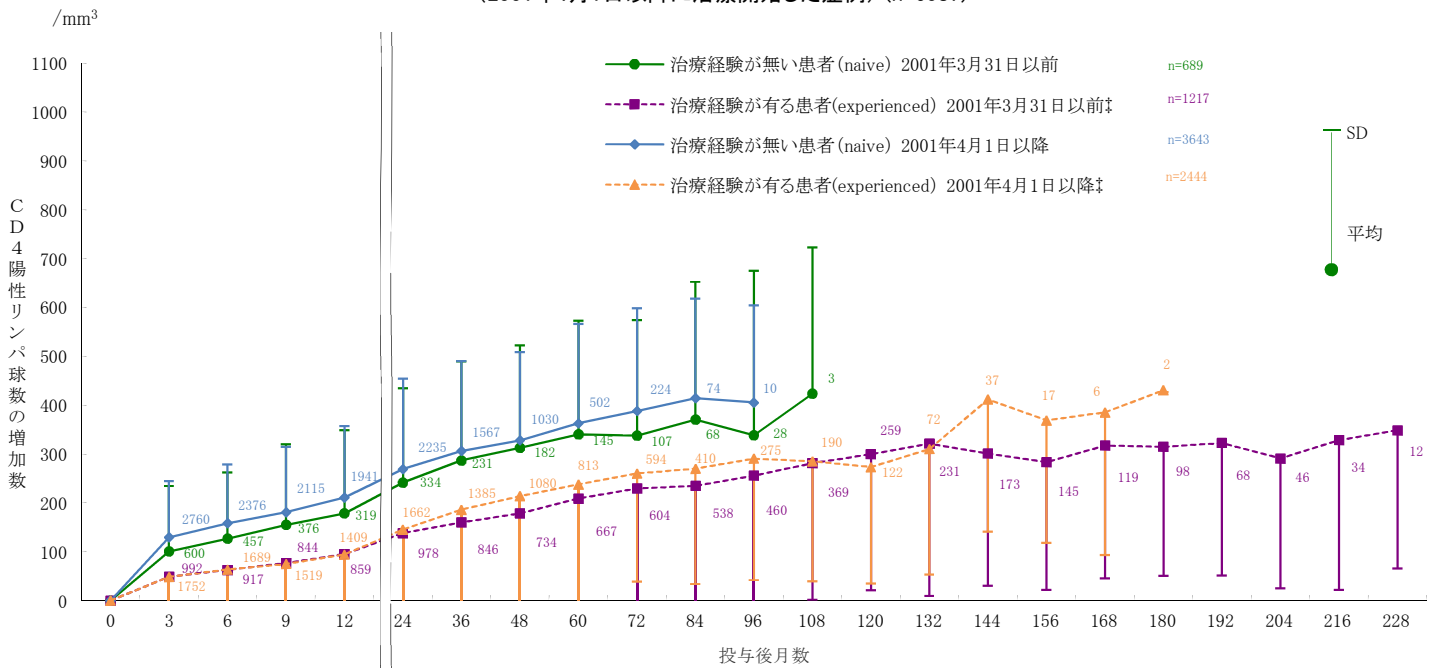
† 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

治療開始後のCD4増加数の推移[†] (調査期間: 調査開始から2016年3月) (n=7993)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

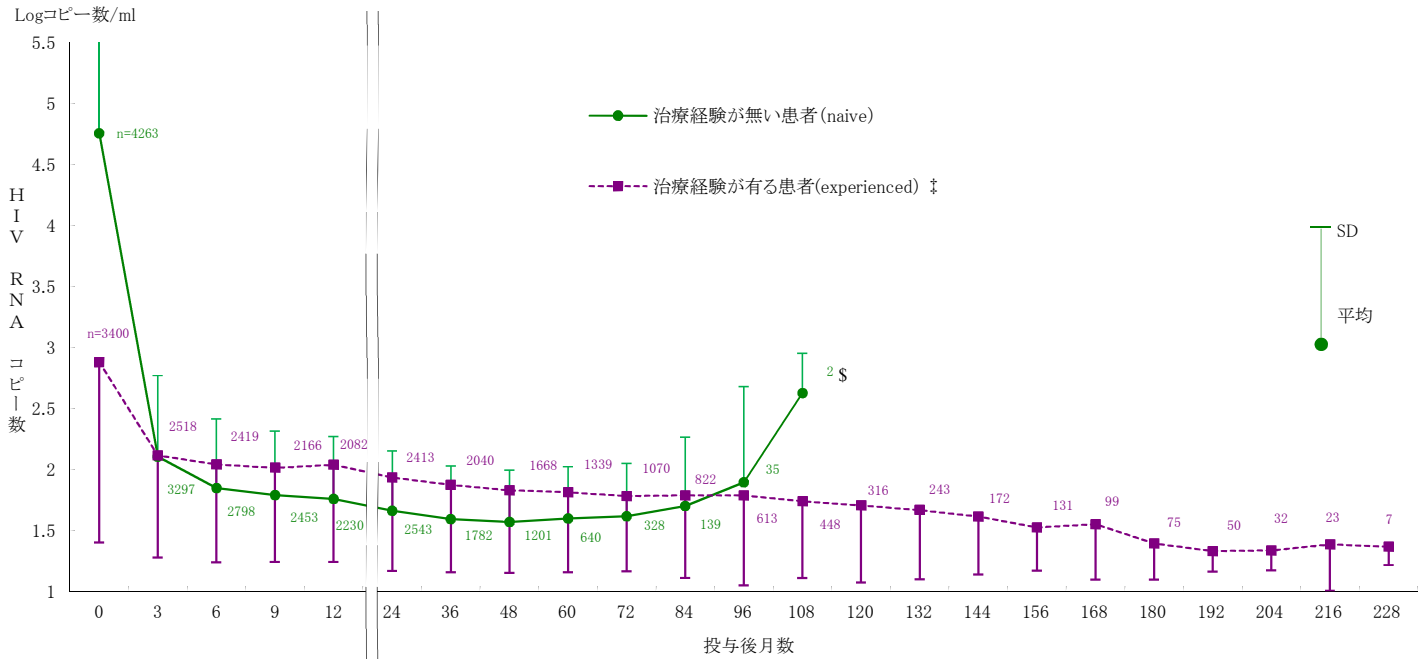
治療開始後のCD4増加数の推移[†] (2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1906) (2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=6087)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。
[†] 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。
[‡] 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

調査対象全症例における治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移

治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†] (調査期間: 調査開始から2016年3月) (n=7663)



[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

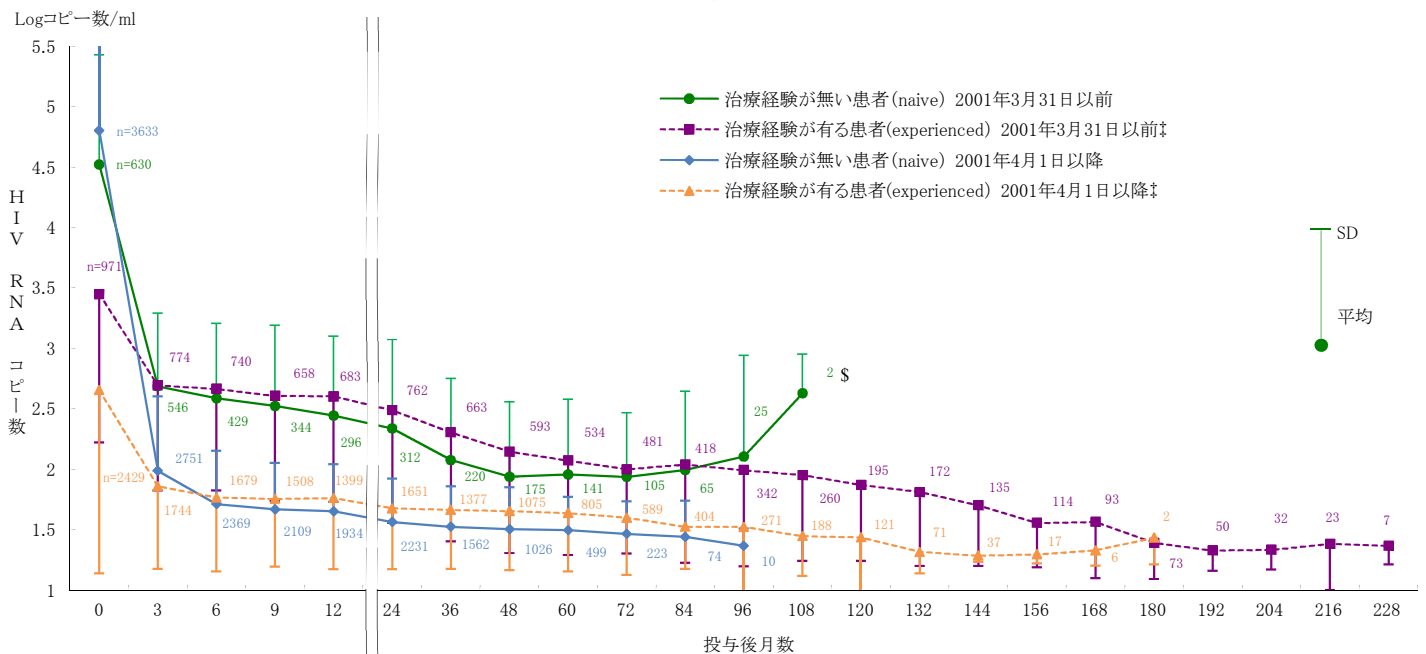
治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。

‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

§ Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。

HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移[†] (2001年3月31日以前に治療開始した症例) (n=1601) (2001年4月1日以降に治療開始した症例) (n=6062)



[†] HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。

治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。

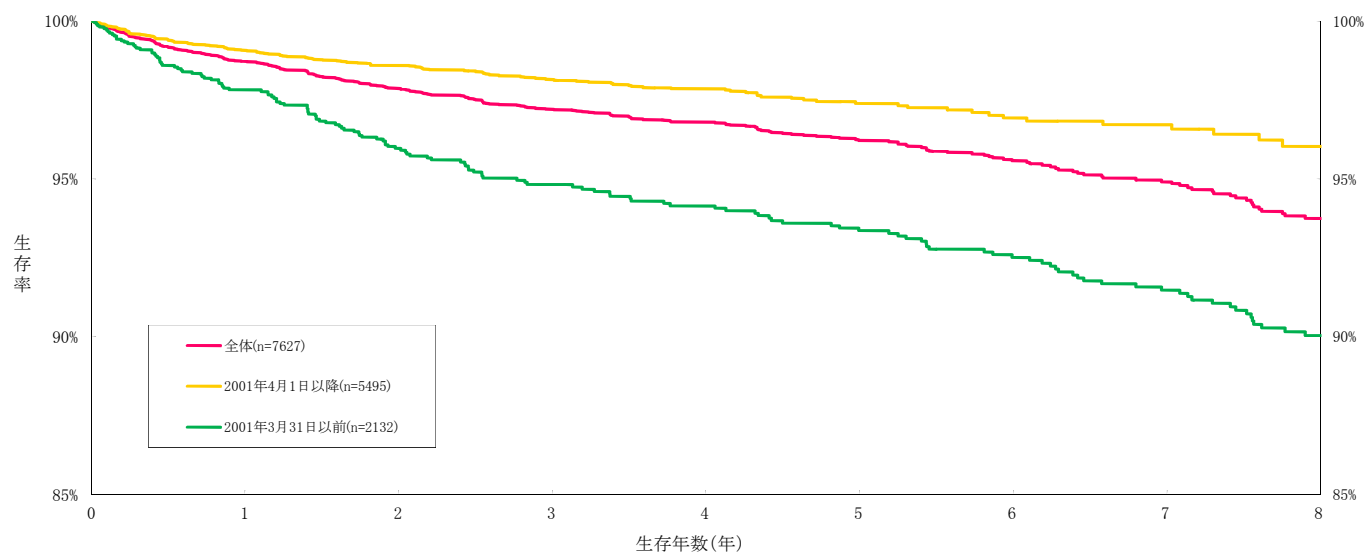
‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

§ Naïve症例のHIV-RNAコピー数の96及び108月目の平均値が上昇しているが、一度も検出限界以下になっていない1990年代の症例に継続投与されたデータのため、母数が減少するとともに平均値が上昇している。

HIV-RNAコピー数の検出限界値は、調査開始から2008年3月は399、2008年4月から2010年は39、2011年以降(施設により異なる)は19に読替えを行った。

調査対象全症例における治療開始時期別生存率

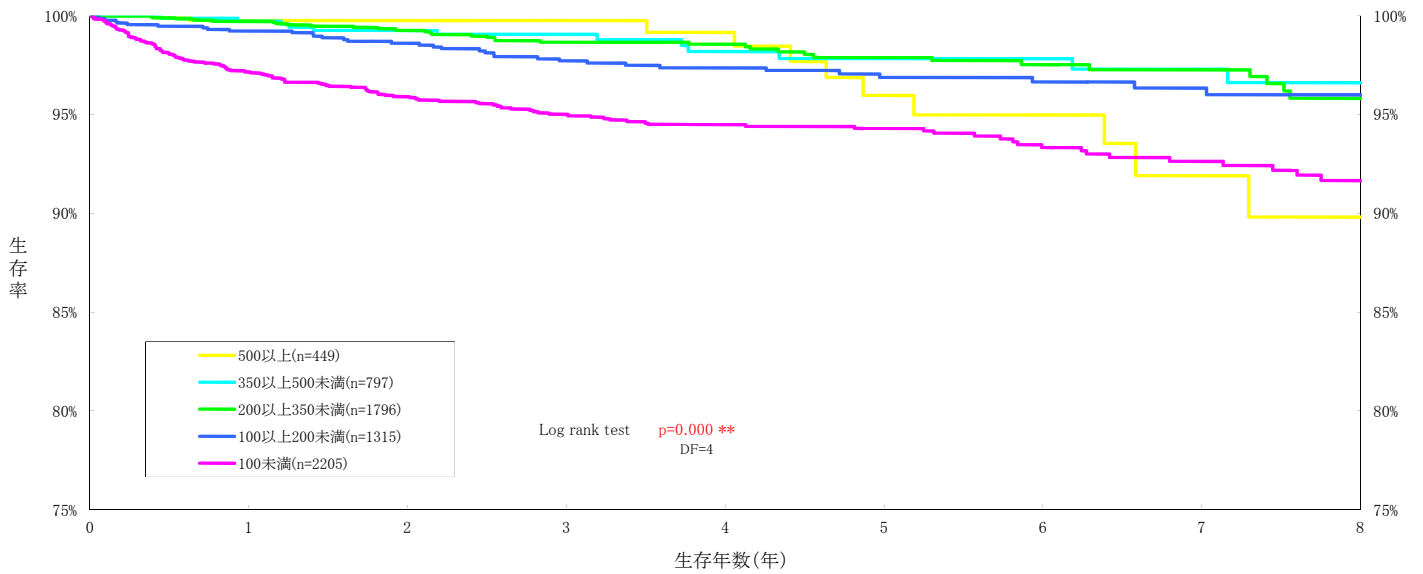
HRD共同調査生存率
全症例のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 調査開始から2016年3月)



	治療開始時期	生存年数									
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)
治療開始時期別の生存者数	全体	7627	6715	5659	4625	3732	2794	2110	1584	1169	889
	2001年3月31日以前	2132	1838	1596	1337	1225	1151	1038	903	738	568
	2001年4月1日以降	5495	4877	4063	3288	2507	1643	1072	681	431	321
	治療開始時期	生存年数									
		(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)
	全体	602	453	322	256	198	154	100	62	46	14
	2001年3月31日以前	399	337	270	224	190	154	100	62	46	14
	2001年4月1日以降	203	116	52	32	8	-	-	-	-	-

調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 調査開始から2016年3月)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。

本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

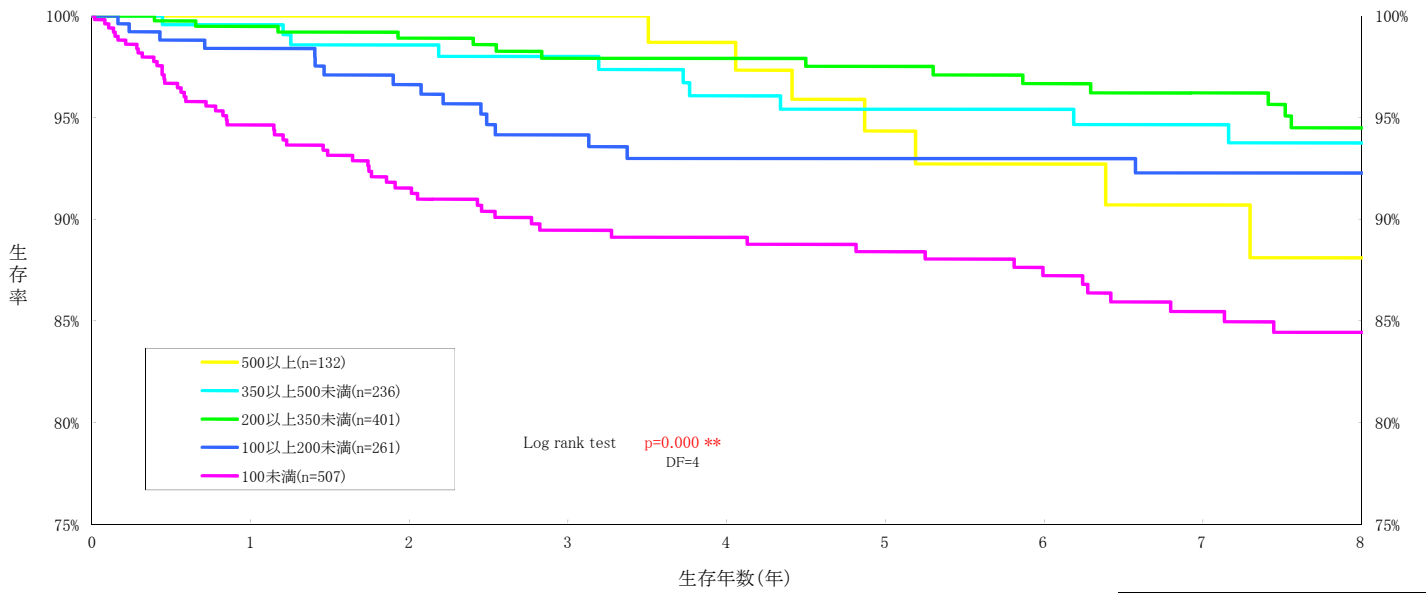
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等)による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例などにより各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	$p=0.591$
350未満 vs 350以上	$p=0.013^{*}$
200未満 vs 200以上	$p=0.000^{**}$
100未満 vs 100以上	$p=0.000^{**}$

	治療開始時 CD4数	生存年数									
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)
	<100	2205	1902	1604	1349	1120	835	607	446	299	216
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<200	1315	1195	1054	897	734	532	398	284	203	154
	<350	1796	1634	1406	1124	853	610	445	311	223	175
	<500	797	672	506	382	303	229	188	149	121	84
	500 ≤	449	360	254	181	144	101	74	47	35	25
	治療開始時 CD4数	生存年数									
		(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)
	<100	154	109	79	65	46	29	18	9	7	2
	<200	102	78	53	42	33	29	17	13	8	3
	<350	116	86	63	48	39	34	25	18	13	4
	<500	62	49	30	24	20	15	6	4	4	0
	500 ≤	18	12	6	6	6	4	3	2	1	1

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



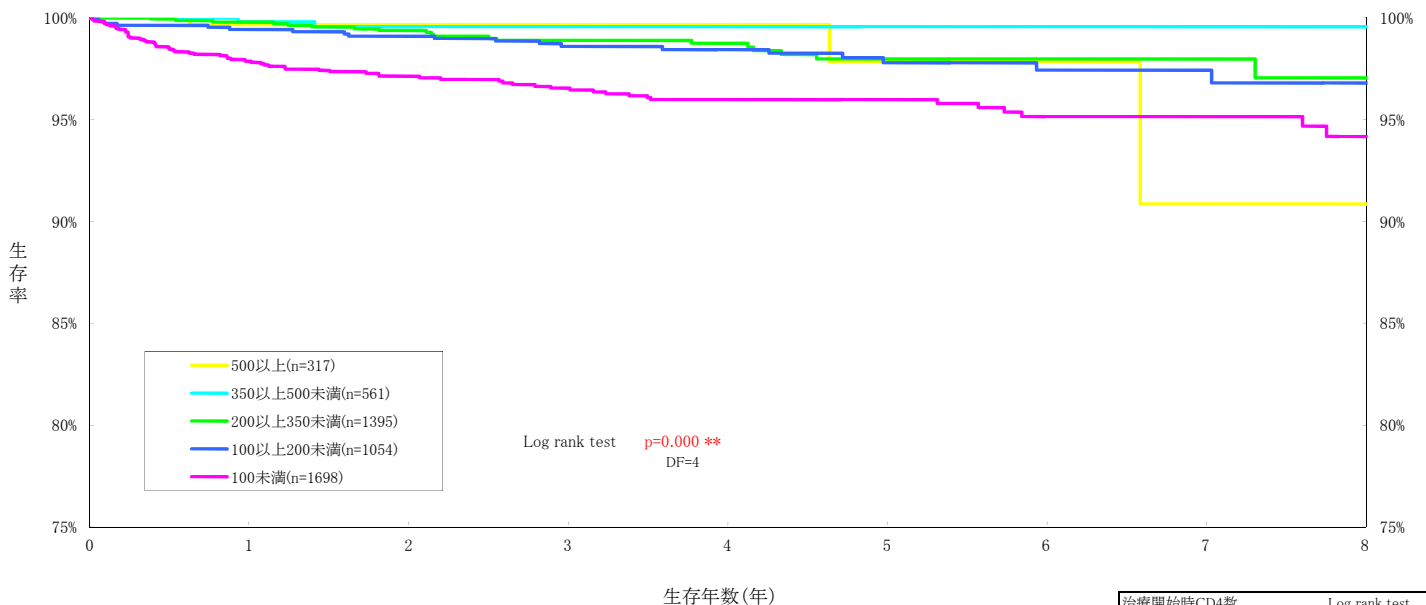
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.638
350未満 vs 350以上	p=0.070
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

	治療開始時 CD4数	生存年数																			
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	58	50	40	29	18	9	7	2
	<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	43	36	32	29	17	13	8	3
	<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	53	43	38	34	25	18	13	4
	<500	236	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	6	4	4	0
	500≦	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	4	3	2	1	1

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。
 治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

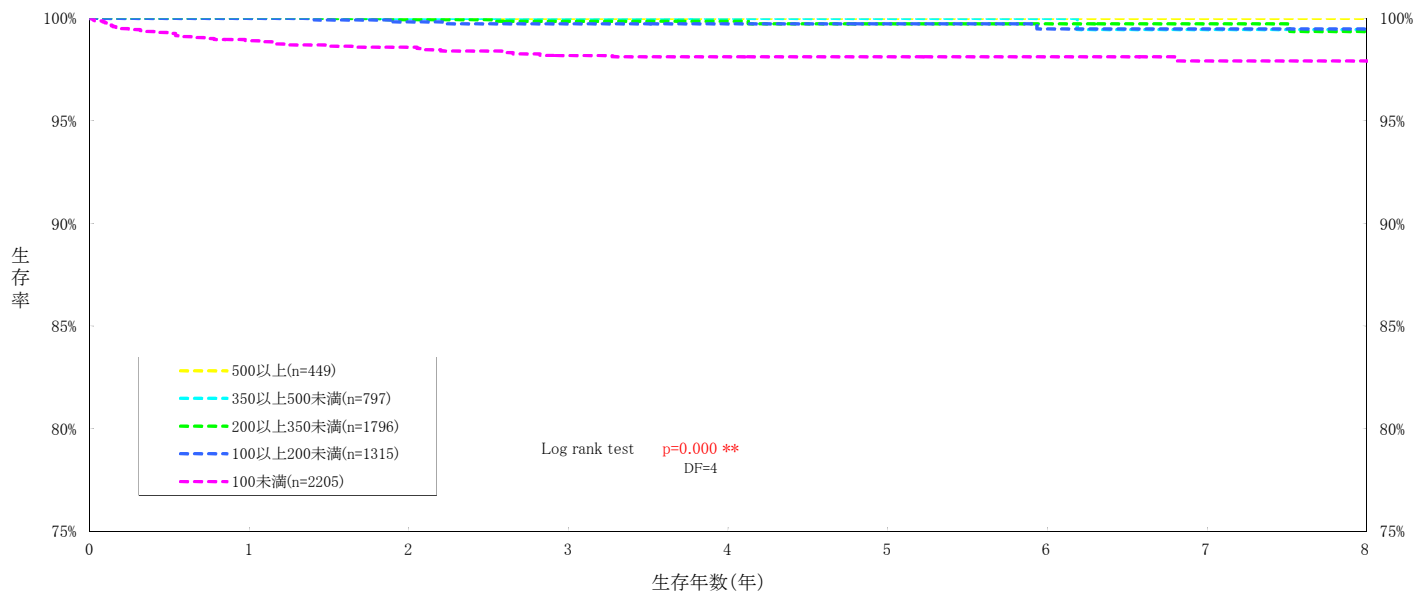
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.326
350未満 vs 350以上	p=0.004 **
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

	治療開始時 CD4数	生存年数															
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<100	1698	1507	1274	1073	863	588	396	271	156	114	74	42	21	15	6	0
	<200	1054	960	848	729	578	388	264	159	103	71	40	23	10	6	1	0
	<350	1395	1272	1082	848	599	370	222	122	77	62	40	22	10	5	1	0
	<500	561	464	329	229	157	91	60	40	28	22	14	9	3	2	0	0
	500≤	317	248	157	100	72	41	22	10	6	6	6	3	0	0	0	0

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)

HRD共同調査生存率 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (調査期間:調査開始から2016年3月)



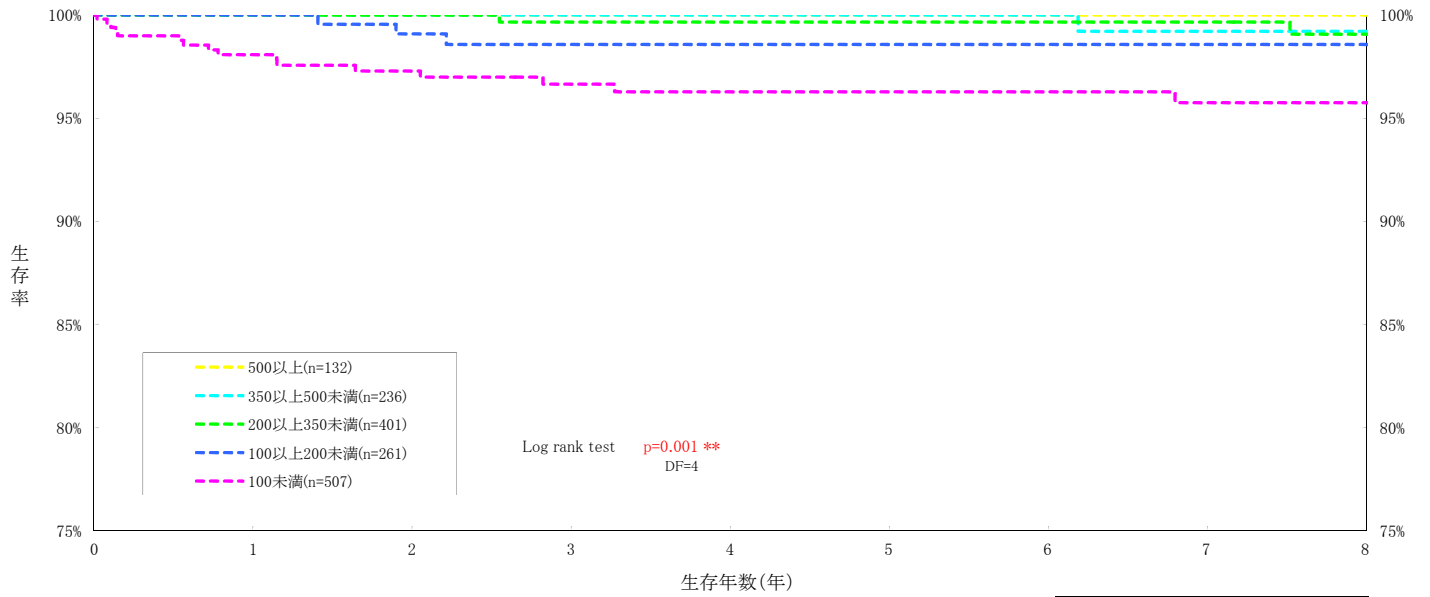
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	$p=0.088$
350未満 vs 350以上	$p=0.007^{**}$
200未満 vs 200以上	$p=0.000^{**}$
100未満 vs 100以上	$p=0.000^{**}$

	治療開始時 CD4数	生存年数									
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<100	2205	1902	1604	1349	1120	835	607	446	299	216
	<200	1315	1195	1054	897	734	532	398	284	203	154
	<350	1796	1634	1406	1124	853	610	445	311	223	175
	<500	797	672	506	382	303	229	188	149	121	84
	500≦	449	360	254	181	144	101	74	47	35	25
	治療開始時 CD4数	生存年数									
		(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)
	<100	154	109	79	65	46	29	18	9	7	2
	<200	102	78	53	42	33	29	17	13	8	3
	<350	116	86	63	48	39	34	25	18	13	4
	<500	62	49	30	24	20	15	6	4	4	0
	500≦	18	12	6	6	6	4	3	2	1	1

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



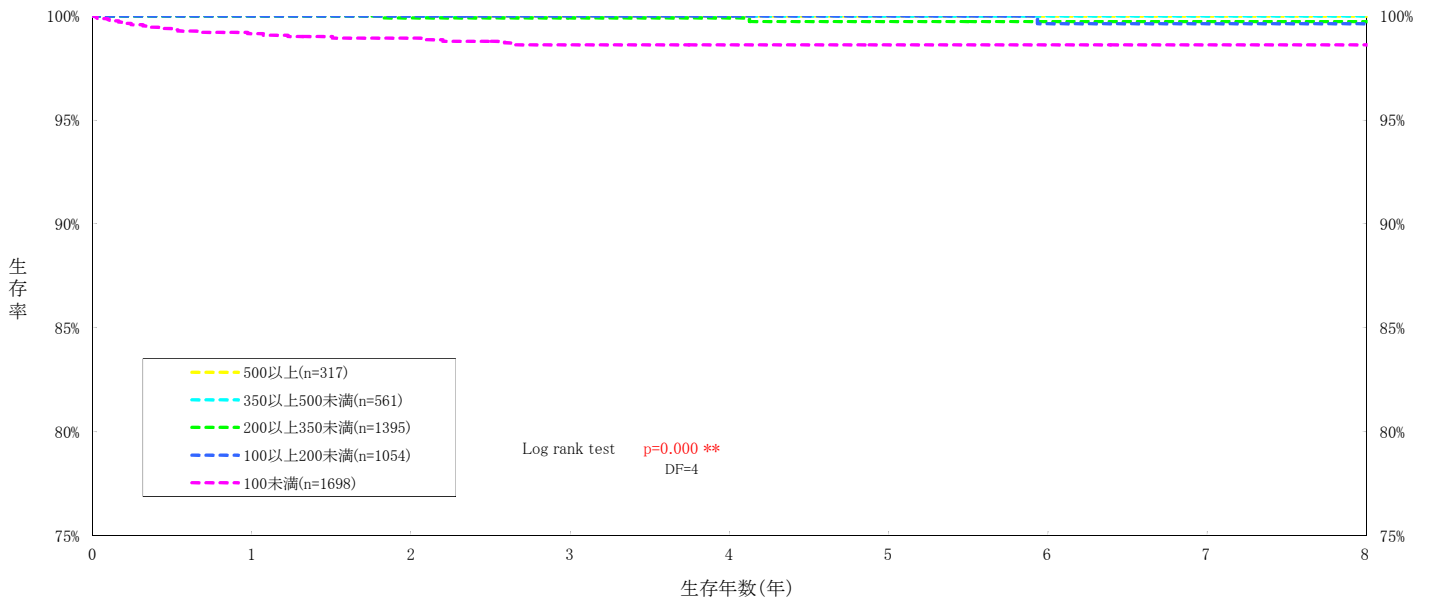
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	$p=0.160$
350未満 vs 350以上	$p=0.032^{*}$
200未満 vs 200以上	$p=0.000^{**}$
100未満 vs 100以上	$p=0.000^{**}$

	治療開始時 CD4数	生存年数																			
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	58	50	40	29	18	9	7	2
	<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	43	36	32	29	17	13	8	3
	<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	53	43	38	34	25	18	13	4
	<500	236	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	20	15	6	4	4	0
	500≤	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	6	6	4	3	2	1	1

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

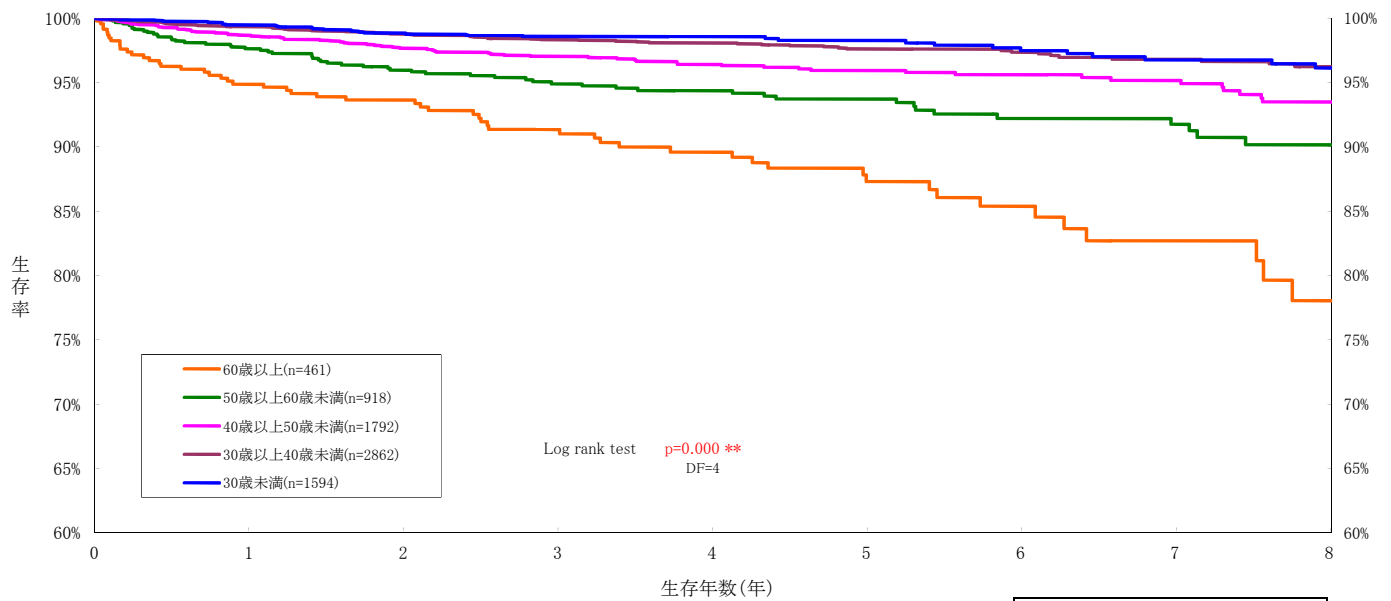
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	$p=0.244$
350未満 vs 350以上	$p=0.036^{*}$
200未満 vs 200以上	$p=0.001^{**}$
100未満 vs 100以上	$p=0.000^{**}$

	治療開始時 CD4数	生存年数															
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)
治療開始時 CD4数別の 生存者数	<100	1698	1507	1274	1073	863	588	396	271	156	114	74	42	21	15	6	0
	<200	1054	960	848	729	578	388	264	159	103	71	40	23	10	6	1	0
	<350	1395	1272	1082	848	599	370	222	122	77	62	40	22	10	5	1	0
	<500	561	464	329	229	157	91	60	40	28	22	14	9	3	2	0	0
	500≦	317	248	157	100	72	41	22	10	6	6	6	3	0	0	0	0

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(調査期間: 調査開始から2016年3月)



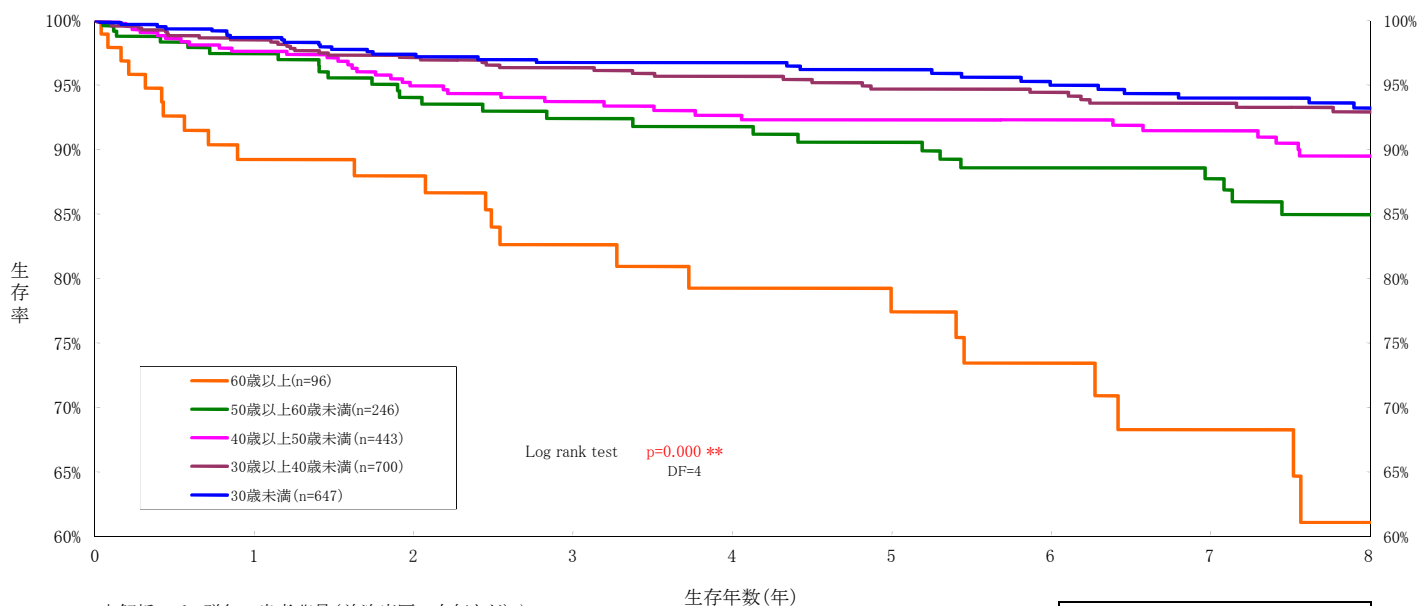
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.000^{**}$

	治療開始時 年齢	生存年数									
		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)
治療開始時 年齢別の 生存者数	<30	1594	1381	1149	921	733	576	458	364	289	221
	<40	2862	2534	2155	1790	1431	1044	783	582	425	322
	<50	1792	1592	1316	1069	874	663	507	380	274	211
	<60	918	808	695	569	470	345	256	194	136	102
	60≤	461	400	344	276	224	166	106	64	45	33
	治療開始時 年齢	生存年数									
		(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)	(18年)	(19年)
	<30	152	121	85	71	60	49	33	27	22	12
	<40	218	165	119	97	79	64	46	27	17	2
	<50	142	102	70	50	34	25	14	6	6	0
	<60	68	50	41	32	21	13	5	2	1	0
	60≤	22	15	7	6	4	3	2	0	0	0

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



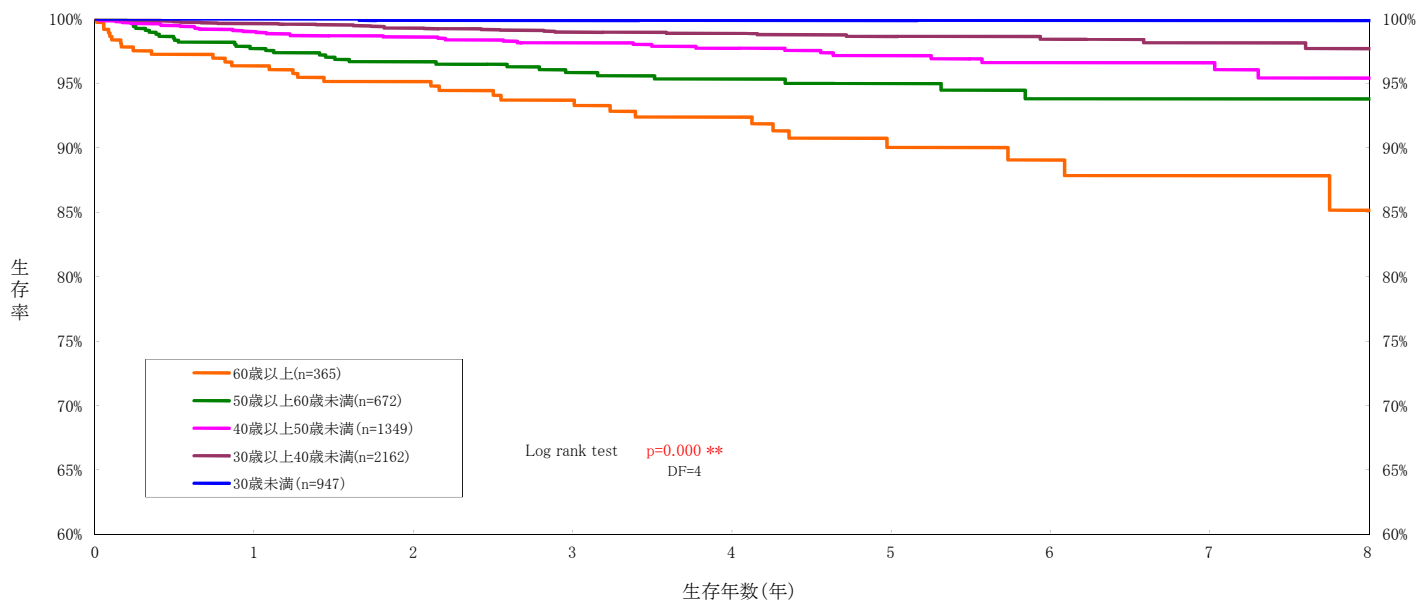
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.005^{**}$

	治療開始時 年齢	生存年数																			
治療開始時 年齢別の 生存者数	<30	647	563	490	405	362	333	304	273	230	177	121	100	75	64	58	49	33	27	22	12
	<40	700	601	522	445	407	381	347	303	246	190	141	121	105	87	74	64	46	27	17	2
	<50	443	388	333	279	261	254	232	202	168	128	85	72	54	41	33	25	14	6	6	0
	<60	246	209	183	155	150	141	125	102	77	59	43	36	32	28	21	13	5	2	1	0
	60≤	96	77	68	53	45	42	30	23	17	14	9	8	4	4	4	3	2	0	0	0

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

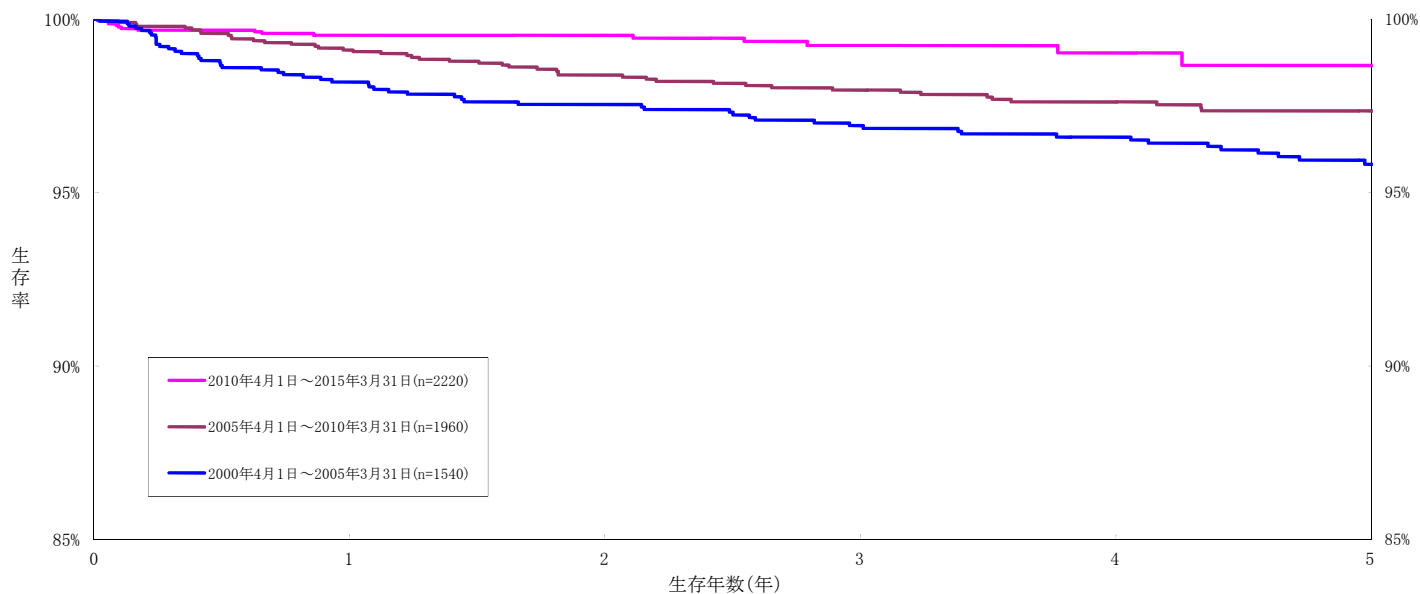
治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	$p=0.000^{**}$
50歳未満 vs 50歳以上	$p=0.000^{**}$
40歳未満 vs 40歳以上	$p=0.000^{**}$
30歳未満 vs 30歳以上	$p=0.000^{**}$

	治療開始時 年齢	生存年数															
治療開始時 年齢別の 生存者数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	
	<30	947	818	659	516	371	243	154	91	59	44	31	21	10	7	2	0
	<40	2162	1933	1633	1345	1024	663	436	279	179	132	77	44	14	10	5	0
	<50	1349	1204	983	790	613	409	275	178	106	83	57	30	16	9	1	0
	<60	672	599	512	414	320	204	131	92	59	43	25	14	9	4	0	0
	60≤	365	323	276	223	179	124	76	41	28	19	13	7	3	2	0	0

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時期別生存率

HRD共同調査生存率
治療開始時期で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
(2000年4月1日から2015年3月31日の期間を治療開始日で5年毎に区切った症例)

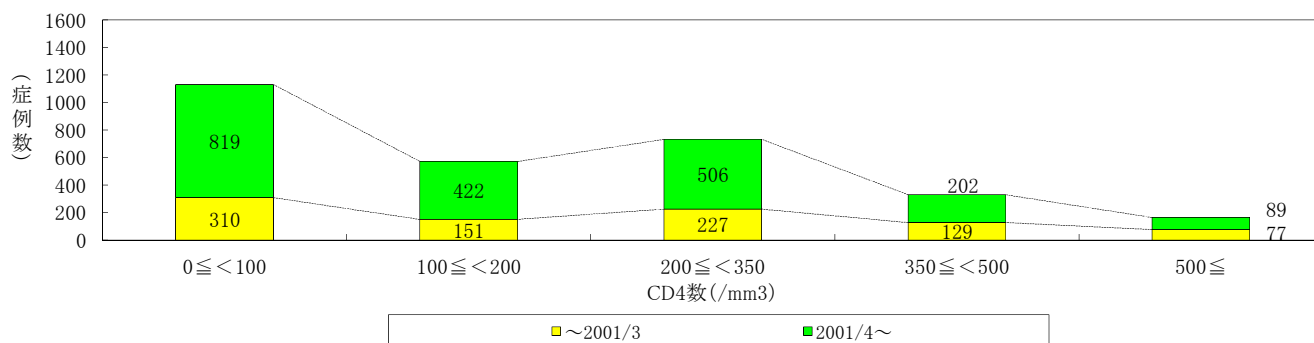


	治療開始時期	治療開始時 平均年齢	生存年数					
			0年	1年	2年	3年	4年	5年
治療開始時期 別の生存者数	2000年4月1日～2005年3月31日	39.41	1540	1394	1301	1234	1099	843
	2005年4月1日～2010年3月31日	39.91	1960	1840	1684	1517	1221	897
	2010年4月1日～2015年3月31日	39.11	2220	1862	1281	730	368	63

調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数

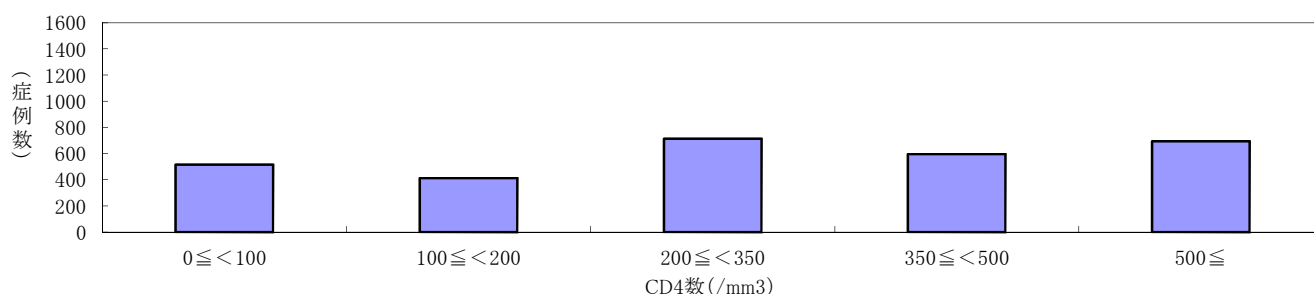
治療経験が無い患者(naive患者)への治療開始時のCD4数

(調査期間:調査開始から2016年3月)(n=2932)



併用療法薬剤変更時のCD4数

(調査期間:調査開始から2016年3月)(n=2932)



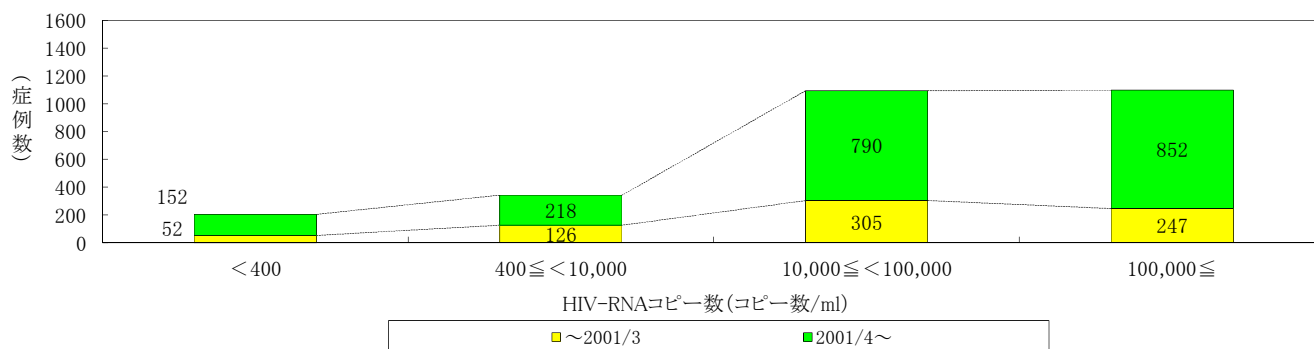
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

- CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

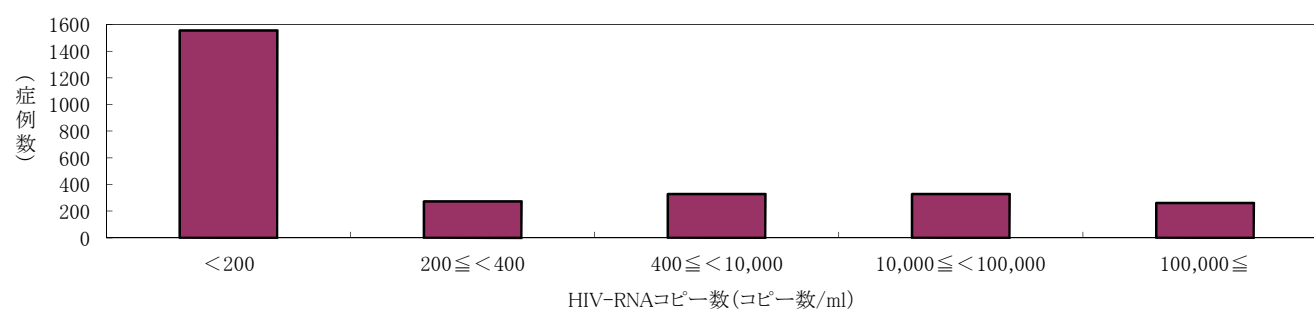
治療経験が無い患者(naive患者)への治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間:調査開始から2016年3月)(n=2742)



併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

(調査期間:調査開始から2016年3月)(n=2742)



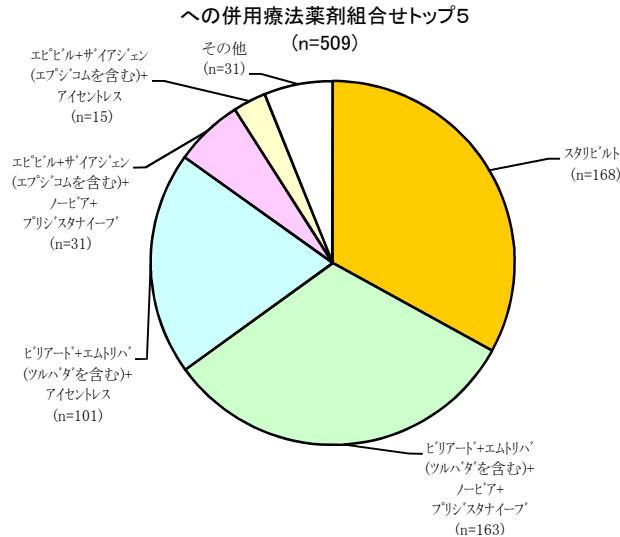
※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

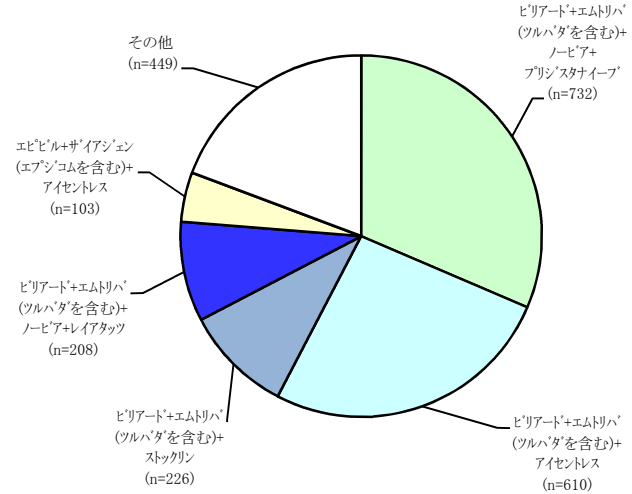
- 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。
- 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

2013年度(2013年4月から2014年3月まで)から2015年度(2015年4月から2016年3月まで)に使用された
調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)

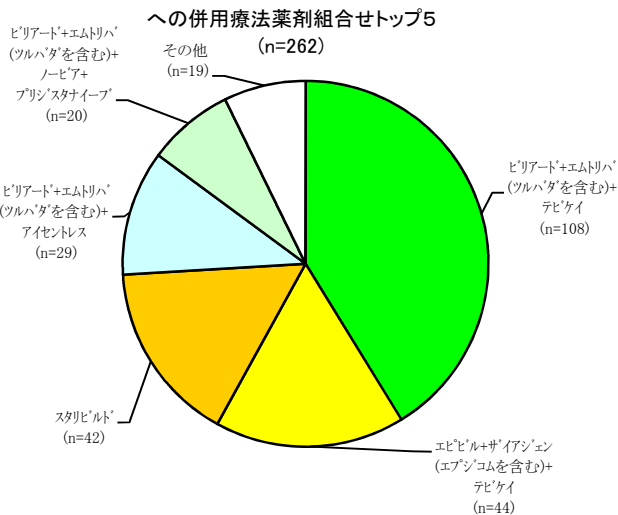
2013年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者:
naive患者)



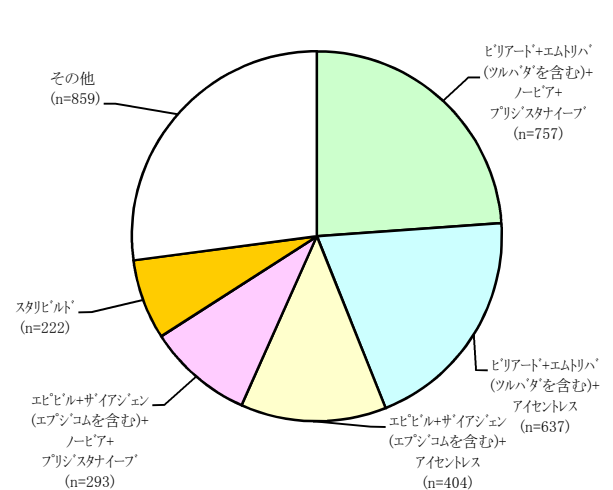
2013年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=2328)



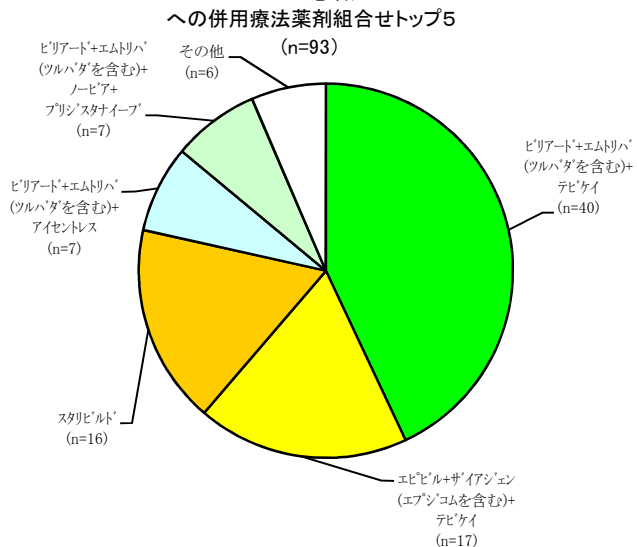
2014年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者:
naive患者)



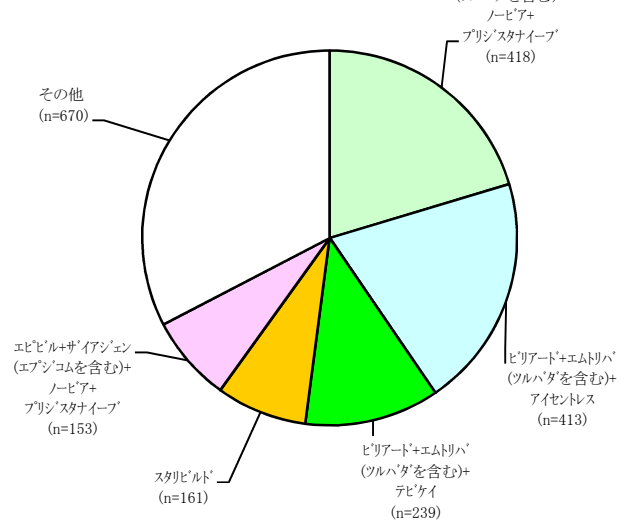
2014年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=3172)



2015年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者:
naive患者)



2015年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法
薬剤組合せトップ5 *
(累積n=2054)



※必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致しているわけではありません。
治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ 本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2013年度から2015年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。

* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、
年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

[illegible]

[illegible]

HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>